

36 年間、子どもたちにごみ収集の「現場」を伝え続ける
環境学習の一環として、地域小学校で出前教室を実施

株式会社日吉（本社：滋賀県近江八幡市）は、近江八幡市・竜王町内の 14 小学校において、小学 4 年生を対象とした環境ごみ学習「出前教室」を 2026 年 5 月から 6 月にかけて実施しました。環境学習の一環として、教科書では学べない「ごみ収集の現場」を子どもたちに伝える、この取り組みは、2026 年度で 36 年目を迎えます。

偏見をなくしたい 36 年前、一つの想いから始まった

1990 年頃、廃棄物処理業界は「3K（きつい・きたない・きけん）」と称され、従業員やその家族が社会的な偏見にさらされていた時代がありました。「正しく知ってもらえれば、必ず分かってもらえる」その信念のもと、日吉は地域の小学校と手を取り合い、正しい理解と意識の啓発を目的として、環境ごみ学習をスタートさせました。以来、世代を超えて地域の子どもたちへ学びを届け続けています。

パッカー車が学校にやってきた！

出前教室では、実際のごみ収集車（パッカー車）を使った体験型授業を行いました。子どもたちは実際にごみをパッカー車へ投げ入れ、スイッチを押してごみが車内に押し込まれていく様子を間近で体験。「水分が多いとゴミ袋が重くなって、液体が飛び散ることもある。だからしっかり水切りしてね」収集スタッフのリアルな言葉は、家庭でのごみ出しへの意識を変えるきっかけになります。

分別についての説明では、ペットボトルは洗ってラベルとキャップを外して出す、びんは中身を空にして色別に出す、といった具体的なルールを解説。さらに、ガスボンベなどの不適切な廃棄物が引き起こした実際の火災写真を提示し、「なぜ分別が必要なのか」を実情をもって伝えました。授業後、ある児童は「分別が大切だと思った。家に帰ったらやってみる」と話しており、学んだことを日常へつなげようとする姿が印象的でした。

「知っている」が「やっている」に変わるまで

環境問題は、知識だけでは行動に結びつきません。日吉の出前教室が大切にしているのは、子どもたちが「自分たちの暮らしとごみはつながっている」と実感できる体験です。36 年間、変わらず地域の学校へ足を運び続けてきたのは、その積み重ねが地域の環境意識を根底から育てると信じているからです。今後も、子どもたちが環境を身近に感じ、正しい行動を「当たり前」として実践できる社会の実現に向け、この活動を継続してまいります。

■会社概要

商号 : 株式会社 日吉
代表者 : 代表取締役社長 鈴木 正
所在地 : 〒523-8555 滋賀県近江八幡市北之庄町 908 番地
設立 : 1958年12月23日
事業内容 : 環境・食品分析、インフラ施設維持管理、工業薬品販売、環境保全事業
資本金 : 2,000万円
URL : <https://www.hiyoshi-es.co.jp/>



ゴミ出しルールなどについて学習している様子



パッカー車の仕組みを学び、見学する様子



パッカー車へごみの投げ入れ体験の様子

【本プレスリリースに関するお問い合わせ先】

株式会社日吉 総務部 経営企画課

担当：西村 亜智

Tel : 0748-32-5111

E-Mail : koho@hiyoshi-es.co.jp